

事業名：スクールバス運行委託等経費

教) 総務課 総務係

政策	05 豊かさと創造性を育む生涯学習環境の充実							
施策	01 子どもの可能性を伸ばす教育の充実							
基本事業	04 教育環境の充実							
開始年度	—	終了年度	—	実施計画 事業認定	非対象	会計区分	一般会計	補助金

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
遠距離通学が必要な児童生徒	
手段（事務事業の内容、やり方）	
登下校の予定時間に合わせ、委託先のバス会社がスクールバスを運行し、児童生徒を送迎する。	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
学校から遠隔地に居住する児童生徒を安全に通学させる。	

指標・事業費の推移						
区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標1	遠距離通学が必要な児童生徒数	人	154	144	138	141
対象指標2						
活動指標1	延べ運行時間数	時間	7,378	7,027	7,984	7,500
活動指標2	利用児童生徒数	人	154	144	138	141
成果指標1	事故等により、スクールバスを運行できなかった便数	便	0	0	0	0
成果指標2						
事業費(A)		千円	32,177	32,269	41,485	47,156
正職員人件費(B)		千円	1,204	1,202	1,562	1,564
総事業費(A+B)		千円	33,381	33,471	43,047	48,720

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
25年度	スクールバスの運行。	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校 11,229千円 ・中学校 30,256千円

事業を取り巻く環境変化	
事業開始背景	
事業を取り巻く環境変化	
平成12年度から豊幌地区はJR定期補助から変更している。費用的にも、子どもたちの通学環境からも大きなメリットがあったと思われる。平成23年度における江北中学校の江別第三中学校への統合さらには平成25年度における角山中学校の中央中学校への統合により、スクールバス路線を増やした。	

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）	
(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？	
<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 妥当性が低い	理由 根拠 <p>義務教育における長距離通学の児童生徒のための安全な通学を支援することは市の役割として妥当。</p>
(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？	
<input type="checkbox"/> 貢献度大きい <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度小さい <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業	理由 根拠 <p>通学上の事故の未然防止にもつながることから、一定の上位貢献はある。</p>
(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？	
<input checked="" type="checkbox"/> 上がっている <input type="checkbox"/> どちらかといえば上がっている <input type="checkbox"/> 上がらない	理由 根拠 <p>通学に際し、事故は発生していない。</p>
(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？	
<input type="checkbox"/> 成果向上余地 大 <input type="checkbox"/> 成果向上余地 中 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地 小・なし	理由 根拠 <p>必要最小限の範囲を対象にしている。</p>
(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算+所要時間）を削減する方法はありませんか？	
<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> なし	理由 根拠 <p>必要最小限の範囲を対象にしている。利用者数が年々減っていることから、学校とも協議して、路線数について検討する。</p>